一般社団法人 日本急性期リハビリテーション医学会

第10期　事業報告

2025年10月1日から2026年9月30日まで

1. 会員現況

2026年9月30日　　会員総数：215名
(2025年9月30日　　会員総数：222名)

2. 役員、代議員

役　　員：理事長1名、副理事長1名、理事7名、監事1名

役職	氏名	所属
理事長	山内 克哉	浜松医科大学
副理事長	安保 雅博	東京慈恵会医科大学
理事	梅本 安則	札幌医科大学
理事	角田 亘	国際医療福祉大学
理事	木村 慎二	新潟大学

役職	氏名	所属
理事	佐浦 隆一	愛仁会リハビリテーション病院
理事	西村 行秀	岩手医科大学
理事	馬庭 壯吉	島根大学
理事	三上 靖夫	明治国際医療大学
監事	佐々木 信幸	聖マリアンナ医科大学

代議員(社員)：86名

3. 社員総会の開催

2025年10月23日 アートホテル旭川 3階 ボールルームⅠ
出席41名、委任状提出40名　合計81名　※欠席5名

4. 理事会の開催

・第1回　2025年10月12日(メール審議)　　・第2回　2025年10月23日
・第3回　2026年 8月18日(メール審議)

5. 研修会の開催

開催日時　：2026年5月19日(火)19時～20時30分
開催方法　：Zoomウェビナーによるオンライン研修会(参加費無料)
企画･主催：一般社団法人 日本急性期リハビリテーション医学会
共　　催：公益社団法人 日本リハビリテーション医学会
　　一般社団法人 日本生活期リハビリテーション医学会
対　　象：日本急性期リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション医学会、
　　日本生活期リハビリテーション医学会の各会員限定
テ ー マ：リハビリテーション医療における令和8年度診療報酬改定のポイント
プログラム：
[開会挨拶]日本急性期リハビリテーション医学会理事長 山内克哉
[講　　演]リハビリテーション医療における令和8年度診療報酬改定のポイント
　　東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 准教授 木下翔司
[パネルディスカッション] 診療報酬改定における現場の課題と今後の方向性
　　パネラー　日本急性期リハビリテーション医学会役員、木下翔司
　　司会進行　山内 克哉　　(敬称略)

当日参加者：366名（事前申込者529名）

6. 日本リハビリテーション医学会との合同シンポジウムの開催

開催日：2026年6月6日(土)
会　場：福岡サンパレス
テーマ：『急性期リハビリテーション診療の現状と課題、そして、その解決に向けて』
座　長：西村行秀（岩手医科大学)、佐々木信幸（聖マリアンナ医科大学)
演　者：・「急性期リハビリテーション診療の現状と課題，そして，その解決に向けて」
診療のポイント
山内克哉(浜松医科大学医学部医学科リハビリテーション医学講座)
・急性期のリハビリテーション治療における多職種連携
幸田 剣(和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座)
・大学病院での新規講座立ち上げ～まず何を優先すべきか～
新見昌央(日本大学医学部リハビリテーション医学分野)
・“食べる”を支える急性期医療：嚥下障害への挑戦
井口はるひ(東京大学医学部附属病院リハビリテーション科)

(敬称略)

一般社団法人 日本急性期リハビリテーション医学会

第 11 期事業計画

2026 年 10 月 1 日から 2027 年 9 月 30 日まで

１．理事会の開催

第 1 回　2026 年 10 月（メール審議にて開催）
第 2 回　2027 年 1 月
第 3 回　2028 年 7 月

２．社員総会の開催

2026 年 10 月（第 10 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会中）

３．研修会事業

(1) 当医学会が企画・主催、日本リハビリテーション医学会および日本リハビリテーション医学教育推進機構が共催する研修会の Web 開催を検討する。

来年度の診療報酬改定が急性期リハビリテーション医療にとって大きな変化がある場合は、診療報酬改定のポイントを再度 Web 研修会として、前期と同時期の 2027 年 5 月に開催する。

(1) 日本リハビリテーション医学会が主催する医師向け研修会を日本リハビリテーション医学教育推進機構と共に共同主催

『急性期病棟におけるリハビリテーション診療、栄養管理、口腔管理に係る医師研修会』
開催予定：第 8 回 10 月 17 日・18 日、第 9 回 2027 年 2 月 20 日・21 日
※開催は今後の状況にて判断(日本リハビリテーション医学会理事会の承認済)
開催方法：Zoom による Web 開催

(2) 日本リハビリテーション医学教育推進機構が主催する関連専門職向け研修会が開催される場合は、日本リハビリテー ション医学会と共に共同主催

『急性期病棟におけるリハビリテーション関連専門職』研修会
配信期間：未定
開催方法：オンデマンド配信

４．講演・シンポジウムの開催

(1) 講演
第 10 回日本リハビリテーション秋季学術集会　教育講演
急性期リハビリテーション医療の基本と ICU での応用
―多職種連携とリハビリテーション科医の役割―

浜松医科大学　リハビリテーション医学講座　山内克哉

(2) シンポジウム

第64回日本リハビリテーション医学会学術集会で脳卒中学会との合同企画で合同シンポジウムを開催予定

2027年 6月　第64回日本リハビリテーション医学会年次学術集会　函館にて

５．教育事業

2024年3月に発行した急性期のリハビリテーション医学・医療テキスト第2版を、新入会時に配布する。

理学療法士、作業療法士が急性期の医学・医療についての教育を促進するため、技師長、副技師長との関係を強化して、療法士が参加できる体制作りをすすめていく。

６．各診療科医師に対する広報活動

ネットを利用して、急性期のリハビリテーション診療の具体例などを発信していく。